

「技術」や「知恵」で発展している地方圏の企業

本社所在地	事業内容	地域のさまざまな資源を活用		企業内部の経営資源の活用	外部の変化やその利用		備考
		地域産業とのかかわりで発展	大学等の技術・知恵を活用		市場環境の変化を活用	政府の助成等の活用	
長野県伊那市	アルミ電解コンデンサ製造・販売	精密機械工業や電子工業企業の集積地に立地。	国内外の学者と共同研究実施(信州大学、米国の大学等)	アルミ箔の表面処理の高技術力により、高品質のコンデンサを生産。電気抵抗によるロスを大幅に低下。	環境へ配慮が企業責任となる中、エコロジカルな性能の付与。		非常に高い技術力が要求されるカメラフラッシュ用コンデンサの世界シェアが70%。地元の精密機械工業の中心的存在。地元のイベント(夏まつり等)にも積極的に参加。
福岡県北九州市	住宅地図、各種地図のデータベースの製作・販売	研究開発部門を地元へ置き、400名以上の研究開発スタッフを雇用。ベンチャー企業向けの投資組合を他社と共同で設立(地域経済を活性化させ、技術者の地元への定着を図る)。	地域の大学との産学共同研究	今日一般的な住宅地図(1戸1戸に住民名が書かれた地図)を一代目が考案。同社の地図上データを利用者が情報利用目的に応じて自由に機能拡張できる地図ソフトや、ノートパソコン型の専用機の画面上からタッチペンで書き込みができるデジタル地図を開発。優れた地図のヴィジュアル化技術力によりカーナビ用地図の作成にも参入。	宅配業者、公共部門(公共事業、警察、消防、郵便)からの顧客ニーズに細かく対応。		住宅地図の分野では国内シェア70%。カーナビ用の地図の国内シェア60%以上(カーナビ地図事業で、米国、欧州、中国に拠点を設立しグローバル化を図る)。高齢者雇用、障害者雇用に積極的。
北海道函館市	情報処理受託・計算処理、情報通信システムの設計開発	周辺に自前のコンピュータ設備を導入できない中小企業が多く、こうした企業から電算処理(給与計算等)を受託し、地元企業とのつながりが強かった。IT化の進展で、自前のコンピュータシステムの構築に取り組む企業の増加でシステム設計開発事業へも参入。	函館みらい大学、ロシア極東大学、高専との交流や協力	豊富な行政業務の知識を持ち、戸籍システム、図書館などの施設管理システム等の行政サービスの情報化に必要なソフトウェアやシステムや、診療所から大病院までの医療情報システムを総合的にサポートする技術の蓄積を持つ。	企業のIT化により、コンピュータ要因の派遣や教育等のアウトソーシング事業も展開。		函館市の観光客誘致や観光イベントに貢献。
香川県大川郡	医薬品(主にパップ剤)の製造	地域振興のための財団を設立・運営。	香川医科大学に寄付講座を設立。同大学への研究助成事業を製品開発に活用。	医薬品メーカーとしてのノウハウの蓄積(150年余の老舗)。パップ剤(湿布薬)の開発。	高齢化の到来で、整形外科領域の疾病の増加。		パップ剤の国内者シェア国内最大。
徳島県麻植郡	蜂蜜と清涼飲料水の製造・販売	県の特産品(すだち、やまもも、しょうが等)を原料。	県の食品加工試験場の指導を受け、生産工程の高度化を実現。	従来からの蜂蜜製造に県の特産品とを結びつけ新商品(清涼飲料水)を開発。	消費者の健康志向に対応した新製品の開発	中小企業創造活動促進法の認定の下、品質改良のための融資を受け増産体制を確立。	県のすだち生産量の10%を同社が消費。

出典：平成12年度地域活性化貢献企業表彰受賞企業紹介(国土交通省)と企業ヒアリングをもとに国土計画局が作成。